



エコフーばんふじいでら

ECO₂プランふじいでら
藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画

平成20年度実績報告
(2008年度)

平成23年3月
藤井寺市

目 次

(1) 総排出量	2
(2) 目標に対する進捗状況	3
(3) 発生源別の状況	3
(4) 項目ごとの経年変化	4
(5) 経済効果	5
(6) 各課室・施設での取組状況	5
(7) グリーン購入方針による取組状況	7

藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画“ECO₂（エコツー）プランふじいでら”の推進においては、平成17年度を目標年度として実施・取り組みをおこなってきたが、平成18年度以降においても計画の主旨に基づき引き続き取り組んでおり、平成20年度の温室効果ガスの排出量等を集計した。また、各課室・施設での取り組み状況、グリーン購入製品の調達状況もあわせてとりまとめた。

対象期間：2008年（平成20年）4月～2009年（平成21年）3月（12か月）

目 標：温室効果ガス排出量を2008年度（平成20年度）において、1998年度（平成10年度）から5%削減する。（2008年度以降も同様の目標数値とする。）

(1) 総排出量

平成20年度の市全体における温室効果ガス排出量は、基準年度である1998年度（平成10年度）と比較して、表1及び図1のとおり約10.15%の削減であった。大きく削減できた根拠としては、清掃課におけるゴミ収集の一部民間委託による公用車の減少があると考えられる。また、都市ガスの使用を25.07%削減できたことも大きな要因となっている。

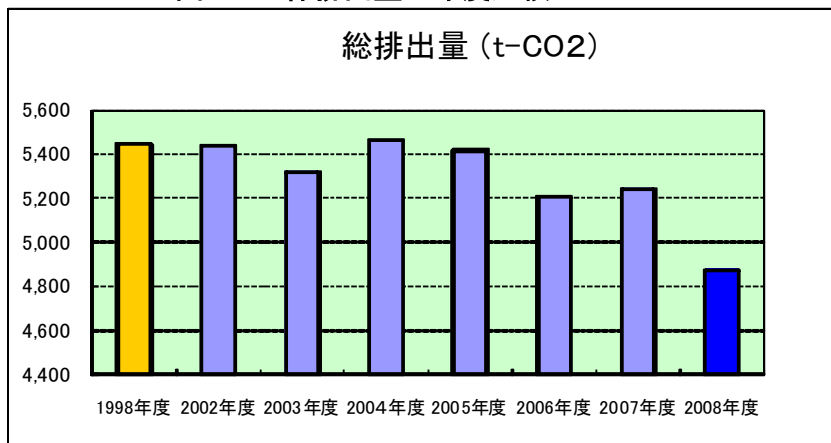
一方で、最も大きな排出源である電気の使用は依然として削減できていない。

表1 全体排出量の年度比較

年度	総排出量 (t-CO ₂)	1998年度を 基準とした割合	増減率
1998年度	5,448.20	—	—
2002年度	4,957.50	90.99%	-9.01%
2002年度 (※推定)	5,438.80	99.83%	-0.17%
2003年度	5,319.80	97.64%	-2.36%
2004年度	5,464.80	100.30%	0.30%
2005年度	5,418.00	99.45%	-0.55%
2006年度	5,206.65	95.57%	-4.43%
2007年度	5,243.01	96.23%	-3.77%
2008年度	4,895.12	89.85%	-10.15%

※推定：市民総合会館が1998年度と同様に業務を行った場合の推定値

図1 全体排出量の年度比較



(2) 目標に対する進捗状況

エネルギー等の使用量削減に関する目標との比較は、表2のとおりである。電気使用量を除くすべての項目において目標を達成することができた。主なものとして、都市ガスは25.07%の削減、公用車の燃料はガソリンで36.96%、水道使用量は32.03%、紙使用量は41.78%それぞれ削減している。

(笑気ガス) 市民病院で手術時に使用する麻酔剤、60.00%削減している。

表2 エネルギー等の使用量削減に関する目標に対する進捗状況

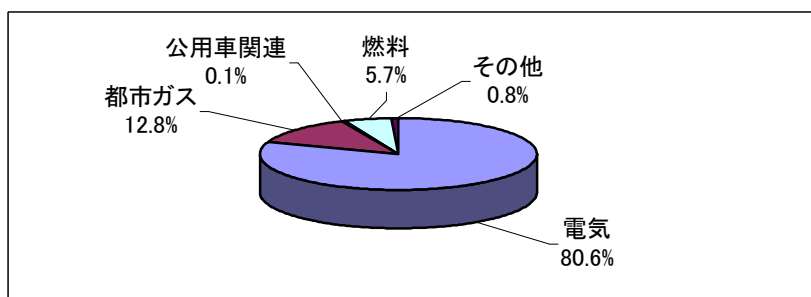
項目	目標数値	細項目	結果
電気	平成10年度(1998年度)に対し、 約5%削減 する。		1.59%削減
都市ガス	平成10年度(1998年度)に対し、 約5%削減 する。		25.07%削減
A重油	平成10年度(1998年度)に対し、 約4%削減 する。		50.32%削減
その他燃料	極力削減に努める。	ガソリン	91.96%削減
		灯油	46.84%削減
		軽油	83.96%削減
		LPG	75.35%削減
公用車の使用	平成10年度(1998年度)に対し、燃料使用量及び走行距離を 約10%削減 する。	ガソリン	36.96%削減
		軽油	56.97%削減
		走行距離	43.52%削減
水道使用量	平成10年度(1998年度)に対し、 約5%削減 する。		32.03%削減
紙使用量(※1)	平成10年度(1998年度)に対し、 約5%削減 する。		41.78%削減
笑気ガス	極力削減に努める。		60.00%削減

※1) 紙使用量については、平成15年度より集計方法を変更し、基準年度の数値も同方法により算出している。

(3) 発生源別の状況

温室効果ガス排出量は、図2に示すように、電気使用に係るものが市全体排出量の約8割(80.6%)と大きな割合を占めている。そのため、都市ガスは削減目標の5倍以上、その他の項目においても目標の数倍削減し目標を達成することが出来た。

図2 発生源別の温室効果ガス排出割合

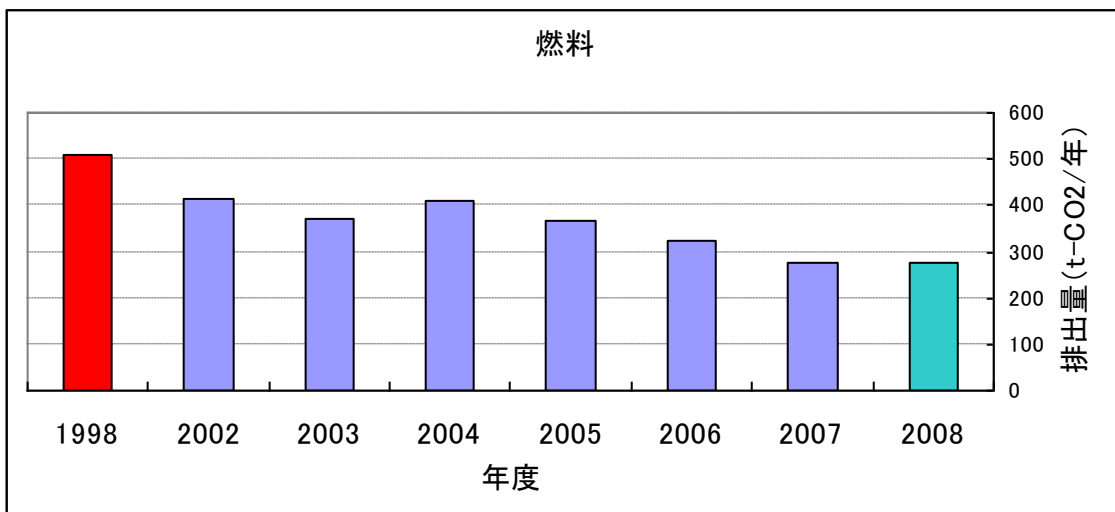
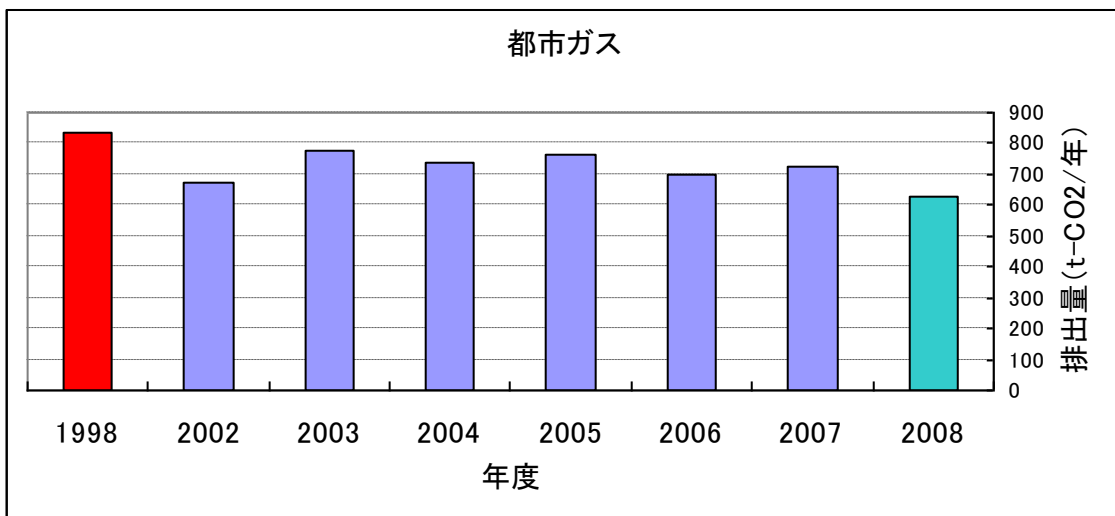
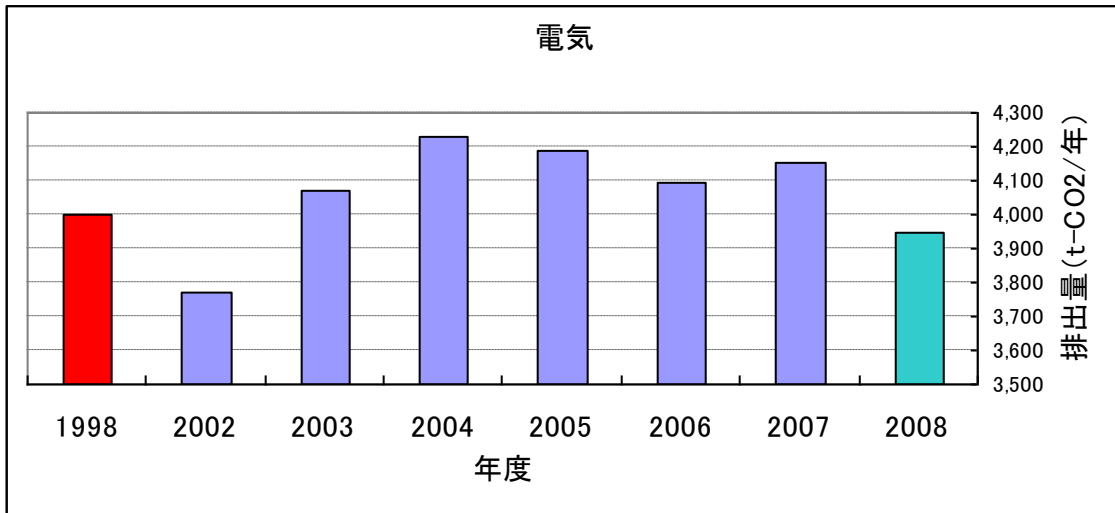


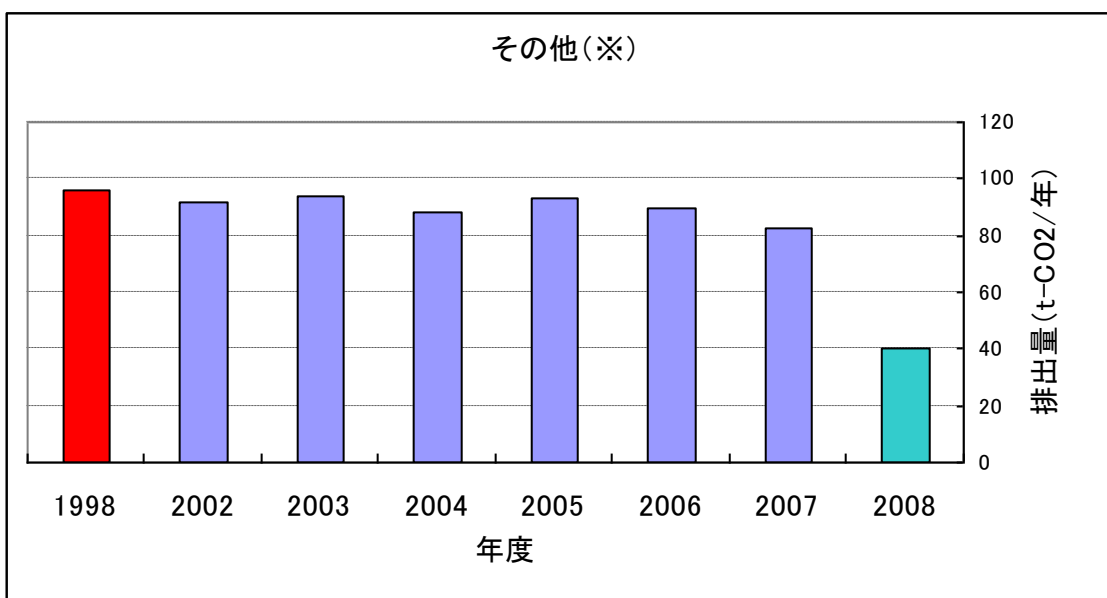
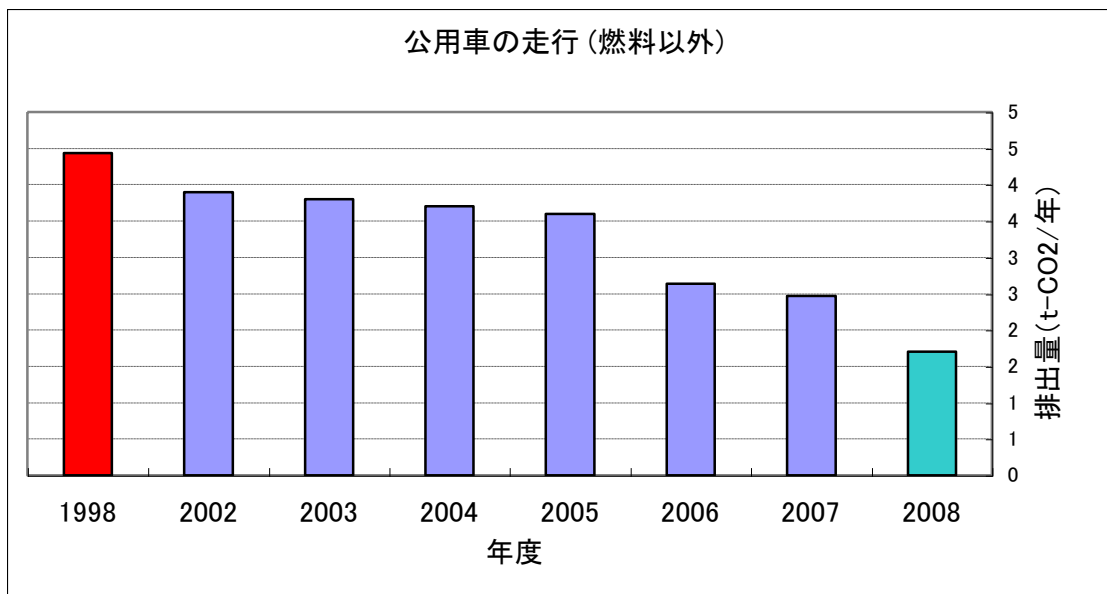
(4) 項目ごとの経年変化

各エネルギー等の使用による排出量の経年変化は、図3のとおりである。

電気以外のすべての項目は目標を達成しているが、最も排出割合の高い電気使用による排出量は、基準年度より微減となっている。

図3





(5) 経済効果

地球温暖化対策の取組みは“省エネ”という経済的な副産物を期待することができ、基準年度と比較して、平成20年度は光熱費(電気・ガス・燃料)で見ると約12,662(千円)の削減となった。電気について使用量は微減しているが、12,156(千円)削減できており、デマンドによる基本料金の低減が功を奏しているものと考えられる。

平成13年度からの7年間の取組みによる経済効果の合計は、概ね129,662(千円)となっており、財政的にも大きな助けとなっている。

(6) 各課・室での取組状況

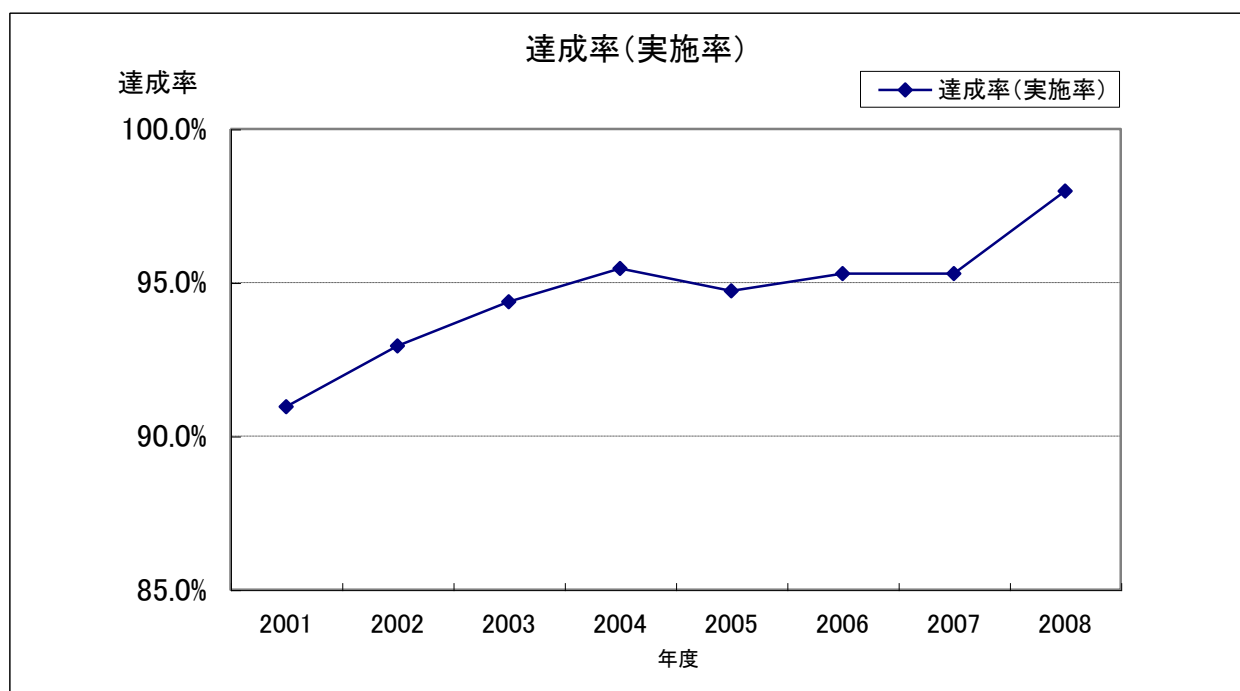
各課・室がそれぞれ部署において実施可能として掲げた取り組みの達成状況の集計は以下のとおりである。計画実施当初と比較すると取組達成率が増加しているが、近年は95パーセント前後で推移している。取組項目数にも大きな変化はみられない。

表 3

年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度
「月別実施項目数合計」／	103,154／	114,702／	115,415／	119,652／
「月別取組予定項目数合計」	113,401	123,431	122,307	125,344
達成率(実施率)	91.0%	92.9%	94.4%	95.5%

年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
「月別実施項目数合計」／	113,896／	120,372／	120,345／	117,951／
「月別取組予定項目数合計」	120,237	126,332	126,305	120,373
達成率(実施率)	94.7%	95.3%	95.3%	98.0%

図 4



(7) グリーン購入方針による取組状況

平成15年3月に策定された「藤井寺市地球にやさしい物品等の調達（グリーン購入）方針」に基づくグリーン製品の導入状況は以下のとおりである。少しずつだが取組が浸透しつつあり、調達率も概ね上昇しており、ほぼ半数の対象分野の品目において、すでに目標を達成しており、もしくはほぼ達成している状況にある。

ただし、「蛍光管」においては、グリーン製品と従来製品との価格差が約3倍あることから調達率は低く推移している。

表4

対象分野	平成18年度	平成19年度	平成20年度	目標達成の有無	平成20年度目標
	(%)	(%)	(%)		
情報用紙	97.8%	83.0%	99.7%	ほぼ達成	100%
印刷用紙	87.9%	85.8%	93.2%	達成	90%以上
衛生用紙	99.7%	97.7%	99.2%	ほぼ達成	100%
文具類A	94.5%	97.7%	86.9%	未達成	100%
文具類B	66.4%	56.5%	90.0%	未達成	100%
機器類	93.2%	100.0%	97.7%	達成	90%以上
OA機器	75.8%	62.8%	64.6%	未達成	100%
家電製品	27.8%	0.0%	96.4%	達成	70%以上
照明	100.0%	98.0%	100.0%	達成	100%
蛍光管	21.1%	32.7%	22.7%	未達成	40%以上
自動車	100%	100%		購入なし	100%
制服・作業服	71.8%	0.0%	11.5%	未達成	70%以上
インテリア・寝装寝具	75.9%	0.0%	0.0%	未達成	20%以上

図 5

